

たこぎ 議会だより

ニだま



9月 定例会議

27年度一般決算 …… P2~P3

どう
お考えか? 5人が問う … P8~P12

研修報告 …… P13

No.102

平成28年10月27日
熊本県多良木町議会発行

今年も美味しく育ったかな~ (学童農業体験田)

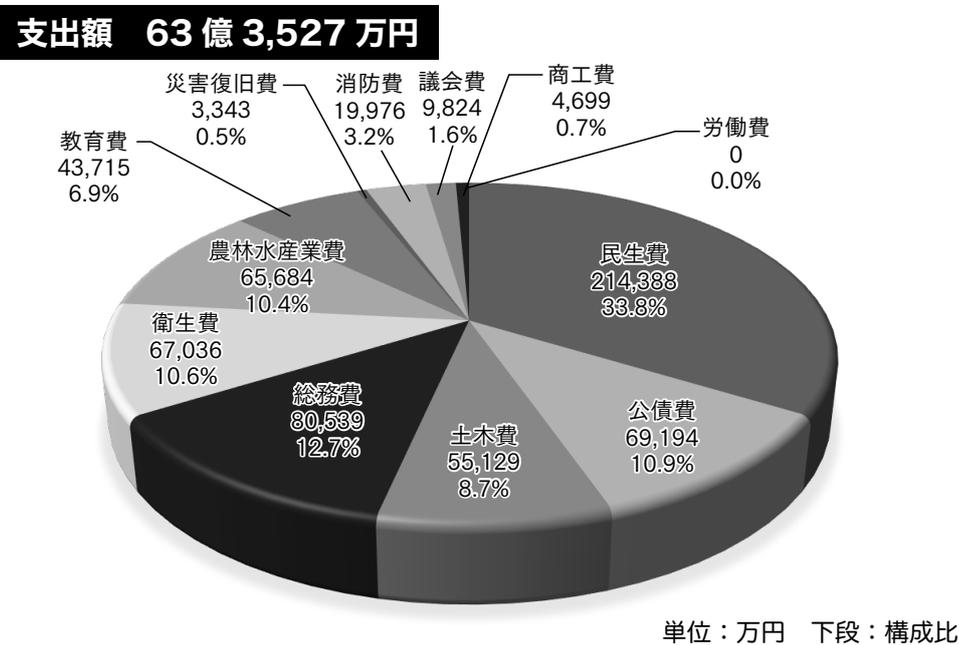
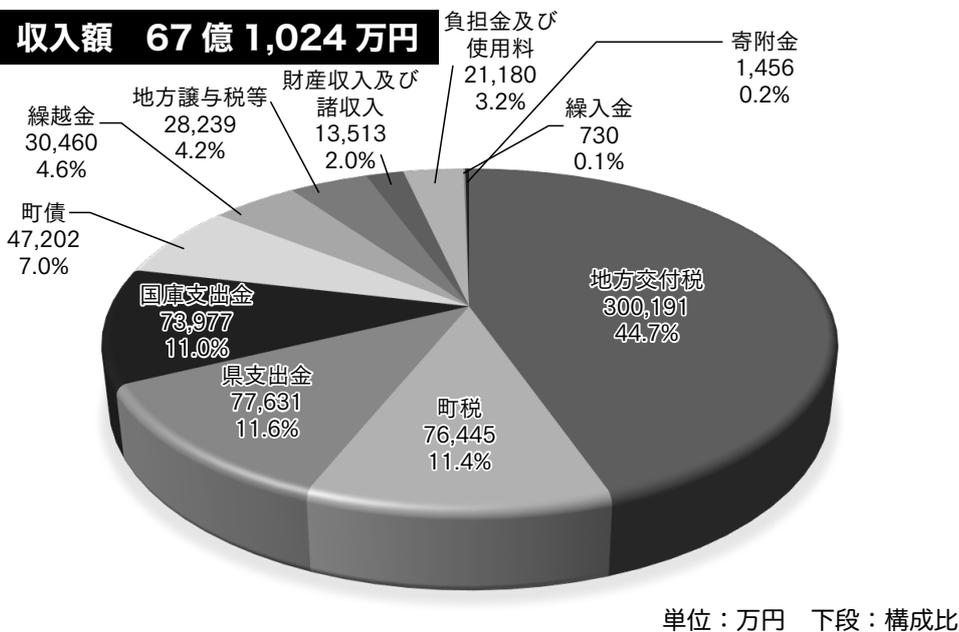
決算を認定！

賛成 10

反対 1

平成28年度9月定例会議は6日から15日までとし、報告1件・同文議決1件・一般特別会計補正予算3件・27年度決算認定8件そして1件の教育委員任命選任同意が上程され審議した。また、5議員が一般質問で執行部の考えを質した。

町の家計簿はぐびやんとです



収入67億1,024万円から支出63億3,527万円を引くと繰越金は3億7,496万円になったが、翌年度へ繰越すべき金額が1,629万円あり、それを引くと実質の繰越金額3億5,867万円であった。また、収入の中には前年度からの繰越金が2億7,348万円あったため単年度では8,519万円の黒字だった。また、支出の中には貯金(基金)6,483万円をしたので実質単年度では1億5,003万円の黒字であった。

平成27年度 一般会計

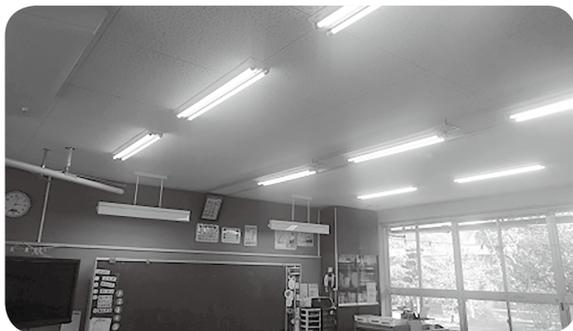
歳入・歳出

60周年記念事業



平成27年度の主な事業

黒小改修事業



町の健康診断

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額については違法な点は見受けられず、関係諸帳票、証拠書類等は収支決算書と照合の結果合致しており、決算計数は正確で、予算執行状況及び事務処理についても適正であると認めた。

また、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確で、収入支出等の事務は、関係法令に適合しており、財産の管理については適正に行われていることを認めた。

年度末の普通会計地方債現在高は60億6千83万3千円で人口一人当たり60万1千35円で、前年同期より一人当たり7,941円減少した。なお、本町の貯金である積立金(基金)現在高(定額資金運用基金及び特別会計分を除く)は25億8千845万8千円で、前年度同期(25億876万4千円)より7千969万4千円増加している。

本町は依然、景気回復の実感できず町税収入は伸び悩み、財産収入も不安定であるので自主財源に恵まれず、また扶助費も年々増加し、経常的経費が多くを占めざるを得ない現状である。今後においても起債の増加に注意し、町税をはじめ各種自主財源を確保し、効率的な執行により経費削減に一層努めるよう強く望む。
(監査意見書より抜粋)

※経常的経費とは……人件費・扶助費・補助費・公債費等、容易に縮減できない毎年継続して経常的に支出される義務的性格の強い経費。



橋梁長寿命化(天子橋)



総合戦略策定事業意見交換会

教育委員会委員を同意！！

宮本 康江 氏

(多良木)

宮本康江教育委員会委員の任期満了（H28.10.29）にともなう再任について同意した。

・・・教育委員とは・・・

町長が地方議会の同意を得て任命。任期は4年で再任可。

※教育委員会は、地方公共団体等に置かれる合議制の執行機関であり、生涯学習・社会教育・学校教育・文化・スポーツ等の幅広い施策を展開。

平成27年度 主要施策成果

(千円単位切り捨て)

1、一般行政

- ①合併60周年記念事業…………… 341万円
昭和30年の合併から60年経ち、11月に町政に貢献された方々が表彰された。
- ②総合戦略・人口ビジョン策定事業…………… 634万円
「総合戦略推進委員会」が設置され、人口減少の分析のもと将来の展望を示し、5年間の地方創生の目標・施策が取りまとめられた。

2、消防・交通・防犯行政

- ①耐震性貯水槽1基・小型動力ポンプ4台…1,832万円

3、産業行政

- ①産業振興資金貸付事業 19件…………… 2,686万円
- ②中山間地域等直接支払交付金事業…………… 9,348万円
耕作放棄地を防ぎ、農地のもつ多面的機能による洪水防止等で生命・財産の保全を目指した。
- ③林道荒水谷線舗装事業…………… 3,509万円
- ④有害鳥獣捕獲事業…………… 1,079万円
有害鳥獣の駆除を行い、農林産物・山林の被害防止に努めた。

4、土木行政

- ①道路整備事業…………… 3億9,035万円
湯原線・小田原庚申線・中島線・小林柳野線等の完了をみた。
- ②橋梁管理費……………5,713万円
- ③下水道維持管理関係……………9,508万円
- ④地籍調査事業……………4,062万円
要調査面積は144.92km²で70.8%の進捗率である。



5、教育行政

- ①学校教育事業……………3,327万円
- ②体育施設……………3,320万円
- ③黒小校舎改修工事……………2,146万円
25年度に設計し、26年から28年まで改善に努める。
- ④各小中学校電子黒板(9台)…………… 716万円
- ⑤総合型地域スポーツクラブ(委託料)… 1,713万円
あいあいスポーツクラブが25年度より指定管理者となっている。

6、衛生行政

- ①介護予防事業…………… 883万円
介護予防サポーター養成講座・高齢者訪問通所介護予防教室を実施。
- ②配食サービス事業…………… 282万円
高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行っている。

7、福祉行政

- ①老人クラブ活動促進事業…………… 310万円
老人クラブ連合会と33単位クラブへの助成を行っている。
- ②児童手当事業…………… 1億5,568万円
中学終了前の児童に対する手当を支給することにより、保護者への手助けを行う事業。
- ③放課後児童対策事業……………1,576万円
- ④子育て応援商品券事業…………… 376万円
対象の62世帯に対し、6万円(商品券)を支給した。

————— 主なものを掲載 —————

(千円台切り捨て)

特別会計
決算

会計名	収入額	支出額
国民健康保険(事業)	16億9,082万円	16億1,560万円
国民健康保険(直診)	694万円	694万円
久米財産区	2,334万円	2,167万円
下水道事業	4億9,282万円	4億8,035万円
介護保険	15億811万円	14億4,081万円
後期高齢者医療	1億3,346万円	1億3,229万円

(税込み)

上水道事業
会計決算

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	1億8772万8,300円	1億7053万8,000円
資本的収入及び支出	236万4,000円	1億581万184円

※当年度純利益の未処分利益剰余金2,406万2,799円は全額減債積立金とした。

財政健全化比率

財政健全化比率	平成27年度	早期健全化基準	備考
①実質赤字比率	—	15.0%	黒字のため—で表示
②連結実質赤字比率	—	20.0%	黒字のため—で表示
③実質公債費比率	11.0%	25.0%	H26 12%
④将来負担比率	68.3%	350.0%	H26 78.5%

実質公債費比率は、町の年間の収入に対し、借金返済額が占める割合を示す数値。将来負担比率は、今後、返済が必要な町の借金の総額が、収入の何倍に相当するかを示す数値である。公立病院等まで含むのが特徴。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

平成28年度補正

一般会計

歳入歳出予算に2千834万円を追加して総額65億1,236万円とした。主な歳入は県支出金768万円・繰入金1,025万円・繰越金6,405万円増額と国庫補助金が▲3,481万円・町債▲2,135万円の減額である。

主な歳出

- 防犯カメラリース・・・・・・・・・・ 43万円
- くま川鉄道補助・・・・・・・・・・ 705万円
- 農業振興補助・・・・・・・・・・ 104万円
- 米飯給食・・・・・・・・・・ 104万円
- 道路修繕・整備・・・・・・・・・・ 2,470万円
- 町営住宅管理・・・・・・・・・・ 958万円
- 消防署内県有地購入・・・・・・・・・・ 1,872万円
- 武道館改修・・・・・・・・・・ 282万円

- 国民健康保険(事業)・・・・・・・・
- 357万円追加
- 総額 15億6,506万円
- 介護保険・・・・・・・・・・
- 3,419万円追加
- 総額 15億1,560万円

8月17日 8月会議

2議案を可決と否決

1 副町長を置かない特例条例



久保田前副町長の6月任期満了に伴い「地方自治法」では副町長を置く事になっているが、現在「違反状態」になっているので、その解消のため「当分の間置かない特別条例」が提出された。

※地方自治法第161条

都道府県に副知事を、市町村に副市町村長を置く。ただし、条例で置かないことができる。

反対討論

久保田議員

地方自治法第167条では副町長等の重要な役割について規定している。「地方創生」の事業はまさにこれからであり、「置かない条例」は政治的・事務的に支障をきたすので、一日でも早く選任する努力をすべきである。

高橋 議員

この条例を認める事はどのような裏づけの説明があろうとも「置かない」事を認める事となる。本町が浮くか沈むかの「地方創生」の重要な時期に、重責のポストに人員配置しない事は町民にとって大きな損失になる。信頼される副町長の提案こそが地方自治法違反の解決策である。

賛成討論無し

審議採決の結果 賛成○(3)：反対●(8)

林田	中村	瀬崎	山中	吉瀬	魚住	高橋	源嶋	久保田	宇佐	豊永
●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○

2 加速化交付金等の補正予算



加速化交付金「ゼロ」から、その後地方創生の施策が認められ「7,493万円」の補正があり、歳入・歳出それぞれ9,340万円を追加し総額64億8,401万円とした。

加速化交付金(地方創生) 7,493万円

災害対策費(熊本震災救援) 751万円

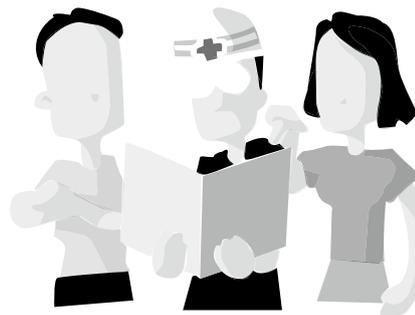
林業用施設災害復旧費 800万円

等

審議採決結果 全員賛成

みなさんからの請願・陳情・要望

件名及び要旨	提出者の住所・氏名	審議
要望書 久米地区町道・県道 43 号線の道路拡張及び整備についての要望書 (写真①)	久米地区 区長代表 永石 國治 ほか署名者 9 名	採択
陳情書 町道蓑田小林線と妙見橋の整備促進に関する陳情書 (写真②)	黒肥地 7 区 区長 西山 晴男 ほか署名者 11 名	採択
要望書 集落生活道に U 字溝の設置及びのり面の強靱化についての要望書 (写真③)	黒肥地東 9 区 区長 中野 繁盛 ほか署名者 13 名	採択
要望書 図書館建設についての要望書	「図書館を考える会」有志 多良木町大字多良木 松田 弓子 多良木町大字久米 宮原 信子	継続
請願書 青少年健全育成基本法制定の為の請願書	八代市海士江町 3364 熊本市 Pure フォーラム 代表者 田中 力男 (紹介議員 源嶋たまみ)	取下



中村 正徳



久米中央公民館の早期改修を補助金を探し早急に進める

Q

A

質問 久米地区には現在避難所の指定がなされていない。住民の生命・財産を守る為にも、避難場所として久米中央公民館を早期に改修または改築をすべきではない。

信國教育振興課長 確かに久米中央公民館は旧久米村役場跡改修建物として老朽

化している。今年9月に入って新型交付金（地方創生拠点整備交付金）が国から出された。その中身を見て該当するのであれば早急に改修・改築等を進めていきたい。

椎葉教育長

久米地区に避難場が少なく、古くなっている久米中央公民館を改築という事で、できるだけ早急に進めていきたいと思っている。場所的なことも地域住民の

方としっかり話をしながら補助金を探して活用したい。



老朽化した久米公民館

活力の維持を目的としているが、人々の生き方の多様化を否定するものではない。箱物行政という手段をとるということでなく、公共事業の増大とならない方策、既存ストックを最大限に有効活用していく事も重要であると思っている。本町では定住支援係を設けているので今後、積極的に取り組んでいきたい。

町長 行政の効率化を考えるとコンパクトシティ構想

Q

A

コンパクトシティ構想の考えは

住民の意見を聞きながら

質問 少子高齢化社会にどのような向き合い人口減少に歯止めをかけるため、子供を産み育てやすい環境を整

備し高齢者が安心安全に暮らせる社会構築のためのコ

ンパクトシティ構想を地方創生交付金を活用して「移住・安住」施策の推進を計るべきと思うが。

岡本企画観光課長 人口減少に伴う町の機能や地域の

の住民感情、特に高齢者は産まれ育った所、現在住んでいる所に住み続けたい感情もあるわけで集約していく事だけが良いとは思えない所がある。だが、今後、地域の活力の維持、防災、効率を考える時、この構想を考えていく余地があるのかと思うので先進地また住民の方々の意見等々を聞きながらやっていきたい。



コンパクトシティ構想とは
人口減・高齢化現象を踏まえ、都市の中心部に公共施設・商業施設などを集約し、町の機能・活力の維持を目的とするものである。
地方の課題としては、地域公共交通の利便性・公共施設の統廃合と適正配置・空き家対策などがある。
熊本市が「熊本型コンパクトシティ」に取り組んでいる。

豊永 好人



となっている。

	4～8月
収入	約950.8万円
支出	約2,454万円
	約△1,503万円

入館料者数
のべ3万8,750人

入館料収支は、
本年4月から8月までの

質問 「えびすの湯」は、平成27年度大幅な赤字であったが、28年度上期の経営収支状況を伺いたい。

今井町民福祉課長

A 約1千503万円の赤字

Q 「えびすの湯」上期の状況は



経営改善が望まれる「えびすの湯」

町長 赤字は、年々増加傾向である。今回木質バイオマスを導入し、少しは改善をしていくのではないかと思っている。町民にとっては、なくてはならない施設であり、今後黒字化を目指して電気料の契約を見直し、経営改善と利用者の拡大に努めていく。

質問 地方創生加速化交付金の中に茅場適地調査が計画されている。農業従事者の高齢化が進み田畑が作付けされないことが予測される。その田畑に茅の作付けはできないか。

A 田畑に可能

Q 茅場の作付けは

A 特色のある作物を

Q 今後の「農業育成」は

質問 本町の基幹産業である農業をどのように計画、推進し、夢をもてる農業を育成していくのか。

町長 本町は、農業が基幹産業である。農業・林業は年々厳しさを増している。加速化交付金が決定したので、農林業の活性化のため事業に取り組んでいく計画をしている。これからは小面積で、高付価値のある作物が大事だと思っている。小面積でも

久保農林課長 町有林などの現地調査も行っており、植え付け場所の決定は、次年度以降に考えている。「茅の田畑」などへの作付けは、農地法で肥培管理が行われていれば認められ

経営できる「特色のある作物」を考えている。



夢を持てる農業へ



耕作放棄地を茅場へ

ているので、適切な管理を行えば可能である。

久保田 武治



社会体育移行の 小学校部活は 保護者の意見や 要望を反映して

だが、PTAでは行われていない。

質問 保護者の意見や要望をどのように集約するのか。

信國教育振興課長 アンケート調査で集約、反映したい。

質問 社会体育移行による費用負担の増加は。

信國教育振興課長 部活動は受益者負担が原則となっている。

質問 貧困家庭の子供が、部活動に参加できない事態にならないか。

椎葉教育長 そういうことも含めての議論と検討を進めている。

質問 県教委は平成31年度から小学校部活動をなくして、社会体育に移行するとしているが教育委員会・各小学校・PTAでの検討作業はなされているのか。

椎葉教育長 委員会で3回・校長会で2回検討した。**信國教育振興課長** 各校で保護者向けの説明は行われ

たが、PTAでは行われていない。



社会体育への移行は

脇地区県道の早急な対策を

3工区の進捗状況を見ながら

質問 県道水上線の里の城〜脇橋間の拡幅改修は、熊本地震を受けて一刻も早い対策が求められている。現在進んでいる県道整備と切り離してでも、来年度予算

に計上するよう要望すべきでは。

小林環境整備課長 現在、県では、3工区（大園下〜茗の木）の整備を進めており、1工区（里の城〜脇橋）

改正後の介護サービスは

従来の基準で実施したい

質問 国は、次年度から介護保険の要支援1・2をはずし、さらに要介護1・2も保険給付からはずそうとしている。そうなるとう高い保険料を強制的に徴収しながら、65%の人が保険給付から除外され、「介護な

し」の事態が進むこととなる。来年4月から要支援1・2の利用者を総合支援事業に移行するとしているが、サービスはどうなるのか。

仲川健康保険課長 既存のサービスに加えて、ボランティア、住民主体のサービ



介護保健施設シルバークエスト

については、3工区の進捗状況を見ながら着手予定とのことである。



狭くて危険な区間

スなどが選択できる。

質問 政府の狙いは介護費用の削減にある。利用者の費用負担はどうなるのか。

仲川健康保険課長 従来のサービスについては、現行どおりで移行したい。新たなサービスについては検討していない。

高橋 裕子



Q 「最上位計画」どうお考えか

A 「地方創生」を軸に進めたい

質問 町づくりの方向を示す最上位計画である総合開発計画の、平成28年から32年度、第五次総合開発計画「後期基本計画」が策定されたが、町長の任期終了を2月に控え、これまでの主な施策の実績・検証について伺う。

町長 大まかには、情報基盤整備によるIT関係企業誘致の可能性・農業機械等導入事業による低コスト化と担い手育成・優良繁殖牛

改良導入事業による共進会

9連覇・町有林主伐事業による雇用と循環型森林の促進・ファミリースポーツセンター事業による子育て支援の推進・健康応援隊の組織による健康づくりの推進である。

質問 後期基本計画において軸とする施策の考えと、10年後20年後の町の姿をどう描きどういう施策の推進をお考えか。

町長 今後5年間については「地方創生」を核に、人口の維持・雇用の場の創出・稼げる産業づくりである。地方創生加速化交付金活用事業に速やかに取り組み、それに続く推進交付金に繋がっていききたい。

質問 その「後期基本計画」

の中の緊急かつ重要な施策の方向は、地方創生推進交付金の申請内容になると思うが、町のリーダーとして、今回交付決定を受けた加速化交付金以外に申請できる推進交付金の方向についての考えは。

岡本企画観光課長 推進交付金は「3つのタイプ」がある中で、加速化交付金につながる「横展開タイプ」で3年間、それ以外の事業に取り組み「先駆タイプ」は今後5年間の計画を作る必要がある。課長会でも十分に協議し申請したい。

質問 町のリーダーとして、この軸になる「先駆的」な事業についての考えは。

町長 加速化交付金を今年度中に実行するわけで、その中で1次産業とIT産業を進めながら拡大していきたい、検証を行い、方向を見定めていく。それを推進し

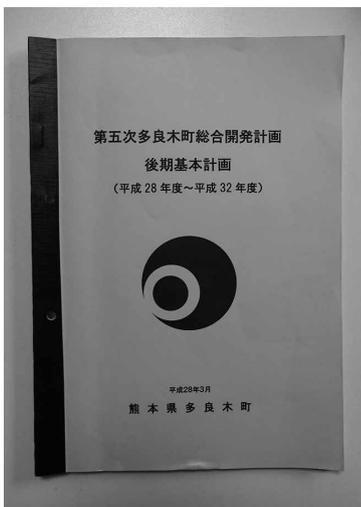
ていくために「3つのタイプ」を利用していくと解釈している。

質問 その解釈が根本的に違います。推進交付金は、今回交付の加速化交付金（基幹産業の活性化・雇用拡大が軸）につながる「横展開タイプ」とは全く違う計画を「先駆タイプ」として申請できます。その事業の考えをお持ちかという質問であった。

今回、10年後の農業の姿・安心して子育てできる環境・中学校校舎問題・地域づくり・過疎のモデル地区槻木の取り組み・福祉事

業・公共施設の経営等たくさん課題について質問した。「基本計画」については、トップとして当然答えられなければならないのだが、行政改革の答申を受けて9年間の行革の形・方向が見えない。監査委員意見書を反映させた「後期基本計画の執行」を望むと共に、町のリーダーとしての質を真摯に受け止めるべきでは。

町長 行政改革答申の民間委託への方向は、考えを持ってはいるが、住民にとって必要なところは「赤字」でも続けていかなければと考えている。



「最上位計画」書

吉瀬 浩一郎



Q 4期目をめざし出馬するのか

A やり残したことがあり出馬したい

質問 町長は3期12年の任期が来年2月であり、4期目を目指し、選挙に出馬されるのか。

町長 出馬をしたいと思っている。やり残したことがあり、これまで力を入れてきた事に対し結果を出していきたい。地方創生の政策で町の活性化をし、また高校施設の活用で県との交渉には是非かわっていききたい。

Q 槻木診療所の改善は

A 時間を頂き検討したい

質問 槻木診療所のトイレはいまだ汲み取り式で、医療行為を行う場所であり衛生面からも「水洗」に変えるべきではないか。また診察室にはエアコンもない。医療環境を改善すべきでは。

仲川健康保険課長 設置する必要性は認識している。浄化槽設置については、診療所の水源である「溪流の問題」等があり考慮する必要がある。壁掛けエアコンの設置は可能だが、設置費



改善が望まれる診療所

用・電気代・の財政措置の問題もあり検討課題とした。い。
町長 不便を掛けていると思うが、時間をいただき検討していきたい。

Q 「マイルを一切使っていない」と云われたが本当か

A 公用で取得したものを交換したが「使用はしていない」

質問 6月会議で町長は「マイルは一度も使っていない」といわれた。使うつもりのないものを集めているのか、使う目的があるからこそ貯めるのではないか。使用の記録は航空会社

に履歴が残っている。「お客様番号」と「パスワード」を入れ、暗証番号を入力するだけで履歴が出る。マイルは電子マネーや「商品券」に変換することもできる。関東以北に16回、海外を入

れると、実に年間19回も出張して27年度の旅費の合計が実に約122万円になる。職務専念義務が課せられた公務出張で、取得したマイルは当然公務に使われるべきである。議会に対してマイルを一度も使っていないという明確な証拠を提出していただきたい。

町長 ANAに問い合わせたところマイルを交換した履歴が2回あった。1回目はANAスカイコインに交換したが、町村長間での話の中で私用に使うのは「問題がある」と言うことで使っていない。2回目は昨年ANA利用券1万マイルを交換し「5千円券2枚」取得して上京の折の土産の購入を考えたが、今月の30日が期限であるが、使っていない。「交換したことを使用した」ということであれば訂正したい。

議 員 研 修

県町村議会議員研修

平成 28 年 10 月 13 日 菊陽町

演題 1 地方議会の課題と活性化策（地方創生と地方議会の役割）

講師 読売新聞東京本社編集局企画委員 青山明久氏

地方創生の目的・地方議会の役割・地方議会議員に期待する役割・地方創生の進め方・各地の成功例等の内容であった。

地方創生の目的は、地方の人口減を止める国の政策であるが、その人口減に対応していく為の施策が必要なのではないかと感じた。



— どうする「地方創生」 —

演題 2 県の認知症対策について

講師 県健康福祉部 長寿社会局 認知症対策 地域ケア推進課 課長 松尾俊司氏

認知症の主な原因疾患。

平成 29 年 3 月 12 日施行予定の高齢者の自動車運転免許更新等に関する問題点。

認知症予防とケア。県における認知症施策の体系等についての研修であった。

文責 山中

厚生環境文教常任委員会「研修」報告

町直営事業所の将来像を見据えて！

当委員会は、町の喫緊の課題である町立第 1・第 3 保育所及び多良木学園の経営方向について関係課（子ども対策課・教育振興課・社会福祉協議会・町立保育所）の職員と合同研修を実施した。

1. 町立保育所（第 1・第 3）は、平成 27 年度から 29 年度までの 3 年間の契約のもと、今後の方向性を見出すという条件で、社会福祉協議会の指定管理で運営されている。また町立幼稚園は、平成 22 年度より休園となり 7 年が経過している。今後の幼稚園・保育所のあるべき姿を、認定子ども園の運営も視野に入れ、議会として執行部の提案に対処すべく、公設・民設双方について研修を行った。

平成 28 年 8 月 8 日（月）

研修地 公設（市立）北郷保育所（保育所型認定子ども園）

民設（社会福祉法人）四季の森子ども園（幼保連携型認定子ども園）

2. 多良木学園は、県南地域に唯一の町営による障がい児入所施設である。年間約 2,000 万円弱の赤字運営となっており、多機能な事業展開の必要性・プロパーによる支援の専門性・高度な企画立案運営等、様々な課題がある。自立支援に向けて多角的視野を有する学園の将来像について、議会としても方向性を模索すべく研修を行った。

平成 28 年 8 月 25 日（木）

研修地 小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛

社会福祉法人 白川園 若葉児童学園（大津町）

文責 高橋



— 視察資料 —



収穫最盛期の栗園（八日原地区）

豆ちしき

「政務活動費」ってなんな？



多良男

いま新聞で、どっかの県で「政務活動費の不正」ちゅうてえらいにぎわいよんナー

なんてナー多良木にもあつとナ？だいじょぶじゃろナー

なんなそら

は一、東京都議会は月60万円やら大阪市議会も月50万円の活動費のあつとげな6月にや多良木の議員も南幌町に行きやつたバツテンそいで費用は足つたとナ？

「行くバイ行くバイ議員ども喜びやつどナー」

多良木町にも「政務活動費」はあつとバイ

平成16年からあつとタイ。そいまでは全員で「議員研修」ちゅうことで職員やら議会の事務局員やらと一緒にしよつたバツテン「情報公開」の促進やら「費用の使い方の透明性」ば高むるためにしやつたとタイ

そいまでは「なんば研修して、なんにいくら使うた」とかの報告もせんでよかつたゲナ。こいじゃわからんちゅうて「月に一人5千円、年に6万円」の活動費ん中で、議員も「目的やら費用の使いかた」も、ちゃんとした研修ばすつことなつたとタイ。

足らん分は「自腹」タイ。帰つてから10日以内に「研修の内容やらいくら使うたか」の報告ば議会事務局に出して、そん書類は5年間分はとつてあつて、だれでんかれでん見らるつことなつとつとバイ。「あんたも見にいかな」



球磨雄

表紙写真募集

『こだま』の表紙にあなたの写真を掲載してみませんか？

こだまでは、町民の皆さまからの写真を募集しております。お気軽にお問い合わせください。

連絡先：多良木町議会事務局 42-1265

編集後記

めっきり涼しくなり、稲刈りの季節になりました。9月の定例会議も、「決算認定」「補正予算」と全て承認可決されました。議会広報もこのメンバーで6回目になり、「執行部」「議会の議事録を読み「中立」「公平」な立場で広報紙作りに邁進し、町民の皆様「分かりやすく、楽しく、読みやすく」なるような広報紙作りを第一にと考えています。

（文責 豊永 好人）



— 編集会議 —

広報特別委員会構成

- ◎ 山中 馨 久保田武治
- 高橋 裕子 宇佐 信行
- 林田 俊策 豊永 好人